



● 名前：羽間 朗 Hazama Akira  
平成 23 年度入省  
● 所属：大臣官房会計課

**総務省を志望した理由**

業務説明会などで、総務省が私たちの生活に密着した行政を担っている機関であることを知りとても身近に感じたのと、説明していただいた総務省職員の方々の熱意に惹かれて志望しました。

**実際に働いた印象**

私は今、会計課で予算編成業務を担当していますが、新聞に載っている記事の一部を実際に肌で感じながら仕事ができる職場でとてもやりがいを感じます。

**今後どのような能力をつけていきたいか**

「カウンターパートが何を考え、どのようなことを求めているのか」を、対話をしていく中できちんとくみ取り、それをもとに業務を正確にこなしていく能力です。

**総務省を志望した理由**

国の行政機関の中でも、総務省の業務は、統計調査や行政相談といった人々の日常生活に携わっているものがたくさんあり、多くの人にとって身近な業務であることに魅力を感じ、志望しました。

**アフターファイブ・休日の過ごし方**

平日は仕事から帰ると家でゆっくり過ごすことが多いですが、休日は茶道などの習い事に通ったり買い物に行ったりと活発に活動しています。

**今後どのような能力をつけていきたいか**

上司や先輩の仕事ぶりを見てみると、思いもかけないところに気が付くなど非常に視野が広いことに驚きます。私も物事を多角的に見渡せるよう、アンテナを高く張って仕事に取り組める職員になることが目標です。



● 名前：阿部 千晶 Abe Chiaki  
平成 24 年度入省  
● 所属：行政評価局総務課  
政策評価審議室

**総務省を志望した理由**

過疎地域である地元の将来に不安を覚え、地方自治の分野に携わりたいと考えました。地方での仕事も魅力的でしたが、総務省は地方勤務の機会もあるので、国と地方の両視点を持って仕事ができる総務省を志望しました。

**アフターファイブ・休日の過ごし方**

平日は、職場の先輩・学生時代の友人と飲みに行ったり、新宿や銀座で買い物をしたりします。休日は、最近ハマっているクロスバイクで都内をめぐりながら、趣味の写真を撮ったり、美味しいものを食べたりしています。

**今後やりたい仕事**

過疎対策です。財政面や人材面など、様々な角度から過疎地域が抱えている問題に向き合い、地域活性化のお手伝いできれば良いなと思っています。



● 名前：小澤 亜紀 Kozawa Aki  
平成 22 年度入省  
● 所属：情報通信国際戦略局  
情報通信政策課

**総務省を志望した理由**

学生時代にインターネットに関係した研究を行っており、特に利活用に興味を持っていました。また、総務省は情報通信のほか、自治や行政評価、統計等幅広い分野を所管しており、日本の国政に広い範囲で関わることが出来ることも魅力的であったため、総務省を志望しました。

**今後どのような能力をつけていきたいか**

現在の部署では時折英語の資料を読んだりするため、語学力を向上させたいと思っています。また、英語に限らず、業務に関して齟齬のないコミュニケーションがとれるよう、伝える力もつけていきたいです。

**今後やりたい仕事**

今までは、情報通信の振興に関する業務を行ってきましたので、今後は総務省で所管している法律の適正な執行に関する業務を行ってみたいと思っています。

**総務省を志望した理由**

総務省の幅広い業務に惹かれ…など志望理由はいくつもありますが、官庁訪問の際、総務省で働く皆さんの温かさに触れ、ここで皆さんと一緒に働きたい!と思えたことが1番の決め手でした。

**実際に働いた印象**

上司や先輩方に「見守られている」という感覚です。迷ったときはいつでも相談でき、困ったときにはさりげなくフォローしていただける環境で仕事ができていることを幸せに感じています。

**学生へのメッセージ**

総務省の業務は幅広く、各局にカラーがあります。ぜひ1度総務省に足を運んでいただき、総務省の雰囲気に触れてください。素敵な上司、先輩に出会えると思います!



● 名前：廣田 恵美 Hirota Megumi  
平成 24 年度入省  
● 所属：統計局統計調査部  
消費統計課審査発表係

**総務省を志望した理由**

私は最初地方公務員を志望しておりましたが、総務省では国家公務員としてだけではなく、都道府県など地方の立場でも仕事ができることを業務説明会等で知りました。この点に魅力を感じ総務省を志望しました。

**学生へのメッセージ**

自分がやりたいことなどが決まっていない方も多いと思いますが、地方自治制度等についていろいろと勉強になりますので、業務説明会などに是非足を運んで頂ければと思います。

**今後やりたい仕事**

この1年間を通じ、地方団体にとって財源を確保することがどれだけ重要か実感しました。地方団体が円滑に自治体行政を行っていくことができるように、地方財政の仕事に携わることができればと思います。